

【別表A(5)－1(公益充実資金の明細)】

下表の水色欄(■)を記載ください。黄色欄(■)は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	残高
研究助成事業－指定研究	費用	2026	65,055,855 円	56,189,037 円
研究助成事業－バイエル	費用	2025	13,351,237 円	11,531,524 円
			円	円
普及支援事業	費用	2028	55,000,000 円	47,503,750 円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末					
前期末残高	取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
115,224,311 円	28,780,237 円	28,780,237 円	20,429,485 円	106,873,559 円	146,294,577 円
各資金の明細	実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考	
研究助成事業－指定研究	費用	2030	65,055,855 円	15,429,000 円	
研究助成事業－バイエル	費用	2025	13,351,237 円	13,351,237 円	
研究助成事業－バイエル	費用	2026	12,887,485 円	円	
普及支援事業	費用	2028	55,000,000 円	円	

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細	期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
研究助成事業－指定研究	円	65,055,855 円	71 月	10,995,356 円	45,113,051 円
研究助成事業－バイエル	円	13,351,237 円	11 月	13,351,237 円	
研究助成事業－バイエル	円	12,887,485 円	23 月	6,723,905 円	
普及支援事業	円	55,000,000 円	47 月	14,042,553 円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細	積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
研究助成事業－指定研究	費用 9,084,804 円	
研究助成事業－バイエル	費用 1,864,450 円	
研究助成事業－バイエル	費用 1,799,689 円	
普及支援事業	費用 7,680,542 円	
合計	20,429,485 円	

【別表A(5)－2(公益充実資金の明細)】

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	研究助成事業－指定研究助成
当該活動の内容	循環器病に関する研究に助成する。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2026 年 3 月 ～ 2031 年 3 月 月数 (60 月)
所要額の算定方法	選考委員会で承認した研究助成について、その財源を寄付に頼っているが、その収入が安定しない。毎年新たな助成事業の追加等をしているため、今後見込まれる助成金額を計算し差額を積み立てるとともに、助成した金額の取り崩しを行っている。

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	研究助成事業－バイエル研究助成
当該活動の内容	循環器病に関する研究に助成する。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2025 年 3 月 ～ 2026 年 3 月 月数 (12 月)
所要額の算定方法	毎年、バイエル社より寄付を受け入れ、研究助成事業で使用しているが、翌年度分として受け入れた寄付が多額であるため、公益充実資金として積み立て、その用途を明確にする。なお、当年度に使いきれなかったものは、翌年度に繰り越しているが、公益充実資金としては、毎事業年度で精算する。

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	研究助成事業－バイエル研究助成
当該活動の内容	循環器病に関する研究に助成する。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2026 年 3 月 ～ 2027 年 3 月 月数 (12 月)
所要額の算定方法	毎年、バイエル社より寄付を受け入れ、研究助成事業で使用しているが、翌年度分として受け入れた寄付が多額であるため、公益充実資金として積み立て、その用途を明確にする。なお、当年度に使いきれなかったものは、翌年度に繰り越しているが、公益充実資金としては、毎事業年度で精算する。

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	普及支援事業
当該活動の内容	循環器病に関する研究の成果や情報等を広く一般に公開し、循環器病対策の推進を図る。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2024 年 3 月 ～ 2029 年 3 月 月数 (60 月)
所要額の算定方法	令和5年度でこれまで実施していた調査研究事業がすべて終了する。それに伴い事業実施のための財源が乏しくなることから、当該特定費用準備資金を積み立て、これまで実施していた規模の普及支援事業を継続する。令和6年度の予算上は21百万円の赤字だが、これから5年間の平均的な赤字は年11百万円と考え、55百万円を積み立てる。